

出演者紹介

あきら 堀江 磨 男声合唱団 Sing Joy 専任指揮者

武蔵野音楽大学音楽教育学科ホルン専攻卒業。在学中、学内管弦楽団メンバーに選抜されブタペスト音楽祭に参加。卒業後声楽に転向。二期会合唱団に所属し数々のオペラ公演に出演。その後、ソリストとして更なる活動を目指し、2010年より渡伊。ミラノ音楽院を経て、イタリアを中心にオペラ、コンサートに出演し好評を博す。これまで、オペラ「愛の妙薬」「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トウツェ」「奥様女中」、日本オペラ振興会公演「イル・カンピエロ」「ラ・ボエム」「蝶々夫人」「カヴァレリア・ルスティカーナ」等に出演。イタリアで声楽をA.Taglianini、N.Zaniniの各氏に師事。現在、東京でオペラ、コンサートへ多数出演し活躍中。また、学生、一般の合唱指導にも定評があり、2013年よりNHK全国学校音楽コンクール東京大会の審査員を務めている。アミーチ・デッラ・リリカ会員、フィオーレオペラ協会会員、アネッロオペラ協会会員、足立学園中学校高等学校音楽科講師、堀江音楽教室主宰。



いずみ 堀江和泉 ピアノ伴奏者

国立音楽大学音楽部ピアノ科卒業。同大学卒業演奏会、読売新人演奏会に出演。卒業後東邦音楽大学付属高校の講師として指導にあたる。1968年より渡独。ドイツのマンハイム音楽院にて2年間口マン派ピアノ演奏法を学び、マンハイム、ハイデルベルグを拠点に音楽活動を行う。帰国後は若い演奏家を中心としたコンサートを開催し、アンサンブル、伴奏、等後進の指導にあたる。ピアノを青木和子、大賀みどり、リヒャルト・ラウクス、フレデリッヒ・ビューラーの各氏に師事。



友情出演 コール・レーネ 紹介

“歌の心を大切に、優美な (léne) ハーモニーに乗せて楽しく演奏したい”と、指揮者の谷宣子先生が1977年に創設。当時子育て中だったお母さんたちと歌い続けて41年。情熱あふれる谷先生のご指導の賜物と団員からのお声です。現在、団員22名が狛江市を中心に活動。日々の練習では、抒情的な歌の他、新しいジャンルの曲にも挑戦中。Sing Joyは2014年、コール・レーネのコンサートに友情出演させていただいて以来、東京都合唱祭で共演するなど、ご一緒に楽しませていただいています。

コール・レーネ メンバー (アイウエオ順)

一ノ瀬奈津子 上野靖子 海老沼恵子 岸田澄子 小池恭子 小出幾子
高賀由起子 小杉淑子 児玉浩子 小林幸子 下坂チトセ 鈴木沙由子
田嶋洋子 角田たい子 東海林悦子 槽山元子 松澤久美 三木エミ子
宮津美智子 門司明美 山下悦子 四元恵子



出演者紹介

のぶこ 谷 宣子 指揮者 (友情出演)

国立音楽大学声楽科卒業。在学中より声楽を四家文子氏に師事。発声法を木下武久氏に師事。卒業後は日本歌曲を中心に演奏活動を行う。1977年にコール・レーネを結成し指揮者として現在に至る。また「コール・アザレア」と「レディースコーラス・アンダンテ」を主宰し、定期的に老人福祉施設を訪問して、楽しく歌う喜びを共に分かち合う活動も積極的に行っている。自らは片野秀俊氏指導の下、アンサンブル・グループ「ル・シャン・デ・フルール」のメンバーとして結成時より活躍している。



小田裕之 ピアノ (友情出演)

1975年札幌生まれ。幼いころから音楽に親しみ、ソルフェージュを独習。16歳でたまたま受けたソルフェージュと和声のレッスンに刺激され、17歳でピアノ科進学を志す。翌年桐朋学園大学音楽学部に入學し岡本美智子氏に師事。1998年同大学ピアノ科を首席で卒業し (NTT DoCoMo 奨学金)、皇居内桃華楽堂においての御前演奏会に出演。大学卒業後、プラハ芸術アカデミーにて研鑽を積んだ。近年は共演者としても活躍しており、その演奏に対し“図抜けたピアニスト”(音楽の友)と評された。現在、桐朋学園大学非常勤講師。



ふぶき 矢島吹渉樹 ピアノ (賛助出演)

桐朋学園大学演奏学科ピアノ専攻卒業後、国際ロータリー財団奨学生としてハンガリー国立リスト音楽院に留学。2002年、リスト音楽院にてデビューリサイタルを行い、2003年に帰国後各地でリサイタルを行う。2007年、ソロCD「ラ・カンパネッラ」をリリースした他、歌曲や室内楽で多くのCD制作に参加。クラシックにとどまらない幅広いジャンルの演奏にも意欲的に取り組む。サントリーホール、東京オペラシテイ等で演奏する他、全国各地で演奏活動を行う。また、コンクールの審査員を務めるなど、後進の指導にも当たっている。



けいた 西垣恵弾 バイオリン (賛助出演)

桐朋学園大学、同大学研究科を卒業。全日本アマチュアオーケストラのコンサートマスターを勤め、ヨーロッパ公演を成功に導く。また、菊池雅章、山下洋輔と共演。久保田利伸、大至、沢田美紀、プリンセスプリンセス、等の芸能人と共演。舞台蜷川幸雄演出「三人姉妹」に出演。現在は三大バイオリニスト古澤巖に師事。2011年東日本大震災翌月から被災地へ生演奏を届ける活動を継続中。復興支援活動を続け、「千の音楽を繋ぐプロジェクト」の津波バイオリンを日本クラシック財団から貸し与えられた224番目の奏者。



山野慎太郎 パーカッション (賛助出演)

東京音楽大学付属高校打楽器専攻を卒業後、同大学作曲専攻。ポピュラーインストゥルメンツコース・ドラム科卒業。作曲家、ボーカリスト、パーカッショニスト、ドラマー、キーボーディスト。都内の様々な場所、様々な形態で活動している。



男声合唱団 Sing Joy 第1回定期演奏会

人生を背に男のロマンを歌い継ぐ

シング ジョイ
Sing Joy

Since 2008

2018 年

5月12日 (土)

開場 午後 1:00

開演 午後 1:30

[会 場]

中央区日本橋公会堂
4 階ホール

中央のマークは
Sing Joy の頭文字
“S”と“J”を
ト音記号風に
アレンジした
シンボルです

ご挨拶

本日はお忙しい中、男声合唱団 Sing Joy の「第1回定期演奏会」にお越し頂き、誠に有難うございました。団員一同、心より御礼申し上げます。

男声合唱団 Sing Joy は、「一般社団法人ディレクトフォース」のコーラス同好会として、2008年5月に結成し、今年で10年を迎えました。

早くから堀江和泉先生にピアノ伴奏・音楽指導を、また3年前からはご子息の声楽家・堀江磨先生に専任指揮者としてご指導頂き、“歌うことの喜び”“言葉の持つ意味とその響きの美しさ”を大切に、童謡や愛唱歌、日本や世界の名曲を歌い継いで来ております。現在は、入団後初めて歌い始めたメンバーを含め22名の団員が月2回の全体練習に加えて、パート練習やボイストレーニングに励んでおります。

さて本日の演奏会は、女声合唱団コール・レーネの友情出演を頂き、また、プロの演奏家によるバイオリン、パーカッション等も取り入れた楽しいコンサートになるよう企画いたしました。

さらにフィナーレには、東日本大震災を機に“すべての人々への応援歌、復興への思いを込めて”、“大きな悲しみを乗り越え、明るい未来と復興”を願い作詞作曲された2曲を混声合唱でお聴き頂きます。

最後になりますが、本日このような演奏会が開催できますことは、これまでご指導頂きました先生方を始め、皆様のご指導とご支援の賜物と考えております。ここに改めて感謝申し上げますとともに、今後もご支援いただきたく宜しく願い申し上げます。

本日はひと時の間ですが、お楽しみ頂けましたら幸いに存じます。

2018年5月12日

Sing Joy 代表幹事 稲垣吉雄

第1回定期演奏会実行委員長 小沢規夫

Sing Joy メンバー

テナー1 稲垣吉雄 三枝格一 習田和彦 菅原邦宏 平井隆一 矢澤英人

テナー2 小林基昭 佐々木正延 平野直樹 松崎浩 脇田祐吉

バリトン 奥村武彦 小沢規夫 織本聰 加納道章 佐藤安雄 布施和夫

バス 神山利 佐々木清廣 田中健一 盤若浩孝 バハットジェイ



Sing Joy の あゆみ

2008年5月19日 12名で結成

2008年 千代田区高齢者センターで演奏（以降毎年演奏）

2014年 慈恵医大病院でフロアコンサート（2016年に2回目）

2014年 女声合唱団コール・レーネの「オータム コンサート」に友情出演／エコルマホール

2015年 第70回東京都合唱祭に出演 女声合唱団コール・レーネとの混声合唱／新宿文化センター

2016年 第26回インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパンに賛助出演／神奈川県民ホール（2017年第27回にも出演）

2016年 秋の合唱祭 女声合唱団グリーンハーモニーと共催／けやきホール

2017年 女声合唱団コール・レーネ40周年記念コンサートに友情出演／エコルマホール

2018年 春の合唱祭 女声合唱団「グリーンハーモニー」・「コーロ・ヴェント」・「合唱団はなみずき」と共催／ゆめりあホール

プログラム

第1ステージ ヨーロッパのメロディより

指揮：堀江 磨 ピアノ伴奏：堀江和泉

アニー・ローリー 訳詞：藤浦洸 作曲：L.スコット 編曲：今村康

ロッホ・ローモンド 訳詞：近藤玲二 スコットランド民謡
編曲：源田俊一郎

広い河の岸辺 訳詞：八木倫明 スコットランド民謡 編曲：小川類

ウィーンわが夢の町 日本語詞：あらかわひろし
作曲：Rudolf Siczynski 編曲：山室紘一

第2ステージ 男声合唱のための唱歌メドレー

指揮：堀江 磨 ピアノ伴奏：堀江和泉

ふるさとの四季 編曲：源田俊一郎

故郷 春の小川 朧月夜 鯉のぼり 茶摘み 夏は来ぬ
われは海の子 村祭 紅葉 冬景色 雪 故郷

第3ステージ 魅惑の女声合唱の調べ

指揮：谷 宣子 ピアノ伴奏：小田裕之

あなたとわたしと花たちと 作詞：峯 陽 作曲：小林秀雄

落葉松 作詞：野上彰 作曲：小林秀雄

夏は来ぬ 作詞：佐々木信綱 作曲：小山作之助 編曲：名田綾子

百万本のバラ 作詞：A.Voznesenskij 作曲：R.Pauls
日本語詞：加藤登紀子 編曲：鈴木憲夫

休 憩

第4ステージ 懐かしい愛唱歌より

団内指揮：佐々木清廣 ピアノ伴奏：矢島吹渉樹

バイオリン伴奏：西垣恵弾 パーカッション伴奏：山野慎太郎

MC：松崎 浩（Sing Joy）

Sing Along 作詞・作曲：Robert Allen

川の流れのように 作詞：秋元康 作曲：見岳章、編曲：今村康

銀色の道 作詞：塚田茂 作曲：宮川泰

見上げてごらん夜の星を 作詞：永六輔 作曲：いずみたく 編曲：今村康

サライ 作詞：谷村新司 作曲：弾厚作 編曲：滝野豊

第5ステージ 混声合唱 すべての人への応援歌

ふるさとは今も変わらず

作詞・作曲：新沼謙治 合唱編曲：片野秀俊

指揮：谷宣子 ピアノ伴奏：小田裕之

時代を越えて

作詞・作曲：枝璃貴子 編曲：戸田有里子

指揮：堀江磨 ピアノ伴奏：矢島吹渉樹

選曲の背景と解説

第1ステージ ヨーロッパのメロディより

このステージでは、スコットランド民謡を中心にしたいいくつかの懐かしい曲目をお届けします。SingJoy は、国内のオルガン音楽の進行・普及を目的とする「インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン」の主宰者児玉麻里氏とのご縁で、2016年（第26回）から賛助出演しています。その場で披露したスコットランド民謡の中から、ハイランド地方にある湖を歌った「ロッホ・ローモンド」、目の前の困難はきっと切り抜けられると朗々と歌う「広い河の岸辺」、今年のフェスティバルのテーマに関連したオーストリアの素晴らしさを歌った「ウィーンわが夢の町」を歌います。

第2ステージ 男声合唱のための唱歌メドレー

合唱仲間では愛好者の多い源田俊一郎氏の編曲による名曲を取りあげました。春夏秋冬を日本人なら誰でも歌ったことのある懐かしい学校唱歌でそれぞれの季節をめぐり、最後に、「故郷」の2番“如何にいます父母”、3番“志を果たして”でこの組曲を締めくくります。特にエンディング部分は壮大かつ繊細で、「ふるさとの四季」全体の締めくくりとして相応しいものとなっています。1986年に混声曲として出版され、多くの合唱団に広く歌われてきました。今回演奏するのは、源田俊一郎氏が男声版として編曲、2002年に出版されたものです。穏やかなメロディと美しい日本の言葉を通して、豊かな自然の趣きと日本人のころをお伝えできればと思います。

第3ステージ 魅惑の女声合唱の調べ

“明るく、わかりやすい音楽”を愛する小林秀雄先生の作品の中から、「あなたとわたしと花たち」と「落葉松」の2曲。「あなたとわたしと花たち」は、ある若者の結婚を祝って作られた“門出の歌”で、春のうきうきした気分を表現した、リズム感あふれる楽しい歌です。「落葉松」は、軽井沢の自然を舞台にしたもの。歌に描かれた、しっとりと静かな中に秘められた激情は、どの人の心をも打つでしょう。「夏は来ぬ」は、古くから歌われてきた文部省唱歌ですが、この曲は原曲とは一味違う現代的な編曲になっています。ジャズの要素を取り入れたハーモニーや、軽やかな Swing のリズムのアレンジをお楽しみいただきたいと思います。「百万本のバラ」は、ロシアの歌謡曲。切ない恋の物語を、思いを込めた振付とともにお届けします。

第4ステージ 懐かしい愛唱歌より

発足以来歌ってきた愛唱歌の中から、Sing Joy メンバーに特に人気のある5曲を選んでみました。どの曲も1960年代から1990年代に作られた有名な旋律です。このうち4曲の日本のポップスはカラオケでも根強い人気があります。少し上の年代の方なら、当時の歌手の姿を思い出されるかも知れません。ミッチ・ミラー合唱団が歌った外国の曲も一つ取り上げてみました。本日はピアノ、バイオリン、パーカッションのプロのミュージシャンによる伴奏も加わって、若い方にも親しみを感じただけのように、メロディックでリズムカルな演奏を目指します。永年聴き慣れた方も、それぞれの曲の新しい表現をお楽しみいただけるのではないのでしょうか。

第5ステージ 混声合唱 全ての人への応援歌

「ふるさとは今も変わらず」

演歌歌手 新沼謙治氏（岩手県大船渡市出身）が2012年に発表した話題曲。東日本大震災によって甚大な被害を受けた新沼謙治氏の故郷と半年後の妻の死。大きなふたつの悲しみを乗り越え、「ふるさと」の明るい未来と復興を願ってこの曲は作られました。演歌歌手が手掛けた楽曲としては異例のヒット曲で、今日も多くの人々を励ましている楽曲です。

「時代を越えて」

クラシックギターのシンガーソングライター、ソングセラピストとして活躍中の枝璃貴子氏作詞作曲。“命”“愛”“自然”“平和”など愛に満ちたメッセージを伝えるコンサート活動が続けています。この曲は東日本大震災発生を機に“すべての人々への応援歌”を“復興への思いを込めて”作られ、被災地でのコンサートや、多くの演奏会で披露されており、心を打つ名曲と評されています。作曲・編曲・プロデューサーの戸田有里子氏の合唱編曲で、「混声四部合唱 時代を越えて」が完成。本日の Sing Joy 第1回定期演奏会が初演となります。